

△資料・情報△

ソ連の日本語研究——その文献目録(4)

柴田 武

最終回は、「9 辞書、会話書」、「10 社会言語学」、「11 応用言語学」、「12 教科書および学習参考書、日本語教授法」の四部門である。序文(第一回)にはこのうち、「11 応用言語学」が欠けている。(なお、「国語学一三一集」の第一回分には、「5 統辞論」も欠けている。これは誤植であって、すでに訂正済み)

2の「応用言語学」の内容は、すべて計算機言語学に関するものである。この種の研究が「日本語研究文献目録」の一部門をなすことに注目したい。

まず、「9 辞書、会話書」に属する文献はすべて著作で、論文〔辞書論〕といったようなものは一つもない。一般的な露和辞典、和露辞典のほかに、「地名辞典」「水棲動植物辞典」「軍事(技術)用語辞典」「科学技術用語辞典」、「自動車・トラック用語辞典」「無線電子工学用語辞典」「経済貿易用語辞典」や「漁業監視者用会話集」などきわめて特殊だが、実際の辞典や会話集が刊行されている。

他の部門でも同じような傾向のあることをすでに指摘したが、「10 社会言語学」に出てくる文献のほとんど(七一・四%)がS・V・ネヴェロフひとりの著作で、他に四人が一篇ずつの文献の著者であるにすぎない。また、「11 応用言語学」では、三八篇の文献のうち二三篇(六〇・五%)がS・M・シェヴェンコ単独か彼との

共同著作である。

「社会言語学」では、S・V・ネヴェロフが「言語生活」の概念を利用して目につく。また、「フィリピンの日本占領軍のたった言語政策」や「満州における日本の言語政策」が論文のテーマになっているのも興味深い。

「応用言語学」における計算機言語学関係の文献は、すべて、日本語からロシア語への自動翻訳を旨とした研究である。数の上では、コード化の問題、統計調査、頻度辞典の作成、それに日本の特許関係文書の研究が目立つ。最後のテーマについては、ソ連閣僚会議の発明発見委員会に「特許情報および経済技術調査中央研究所」があるほどで、その紀要に、特殊関係文書以外を扱った研究も発表されている。日本の特許関係文書をロシア語に機械翻訳することが計算機言語学の最大の課題であり、緊急な国家政策の一つでもあるらしい。

「教科書および学習参考書、日本語教授法」では、一般的な日本語学習の教科書や参考書のほかに、『日本語の科学技術文書翻訳のための参考書—入門コース』、『科学技術翻訳教科書—日本語』、『軍事翻訳コース—日本語』、また、「日本語のラジオ放送を聴取する能力向上に備えるための話しことばの省略文の分析」といった、ごく特殊だが、実際的な必要を満たすような本や論文が出ている。翻訳のための参考書や教科書は、自動翻訳に成功すれば不要になるものである。これら教科書・参考書のうちのいくつかが国防省軍事出版所や軍事研究所出版局から刊行されていることにも注意すべきである。

今回は、下訳をもらって佐藤江一朗氏にお願いした。行き届いた訳だったことに特別に感謝します。

ソ連の日本語研究文献目録——一九五九—一九八一

編集者 T・I・コルチャギナ、L・T・ネチャエフ、

Y・V・ストルゴワ

編集責任者 I・F・ヴァルドゥリ

9 辞書、会話書

アポリマソフ・A・P、ネムゼル・L・A 『日本地名辞典』モスクワ、国立外国語・民族語辞典出版所、一五九、五八一頁

コンラッド・N・I 監修、ネヴェロフ・S・V、ポポフ・K・

A、スイロミヤトニコフ・N・A、フェリドマン・N・I、ツイン・

M・S、コンスタンチノフ・V・M 共編『和露大辞典』全二巻（十

万余語、漢字部首索引つき）、モスクワ、ソビエト百科事典出版所、

一九七〇（ソ連科学アカデミー・東洋学研究所）、第一巻（A—P、

八〇八頁）、第二巻（C—Я、五九三頁、付録五九四—九一九頁）

なお、これに対するリャブキン・A・G の書評がある。『アジア・アフ

リカの諸民族』モスクワ、一九七二、第一号、二〇五—二一三頁。

また、トレチャク・N・N の書評もある。『ソ連科学アカデミー会

報』文学・言語学集、モスクワ、一九七二、第三〇巻、第三号、二

七〇—二七三頁

イェリヨミン・V・N 編『露和水棲動物小辞典』モスクワ、一

九六二、四〇頁（ロシア連邦共和国閣僚会議漁業資源保護・漁獲量

規制中央監督局「国立中央漁業局」

ザルビン・S・F、ロジェツキン・A・M 編『露和辞典』（四万語）

モスクワ、ソビエト百科事典出版所、一九六四、八一—八頁。なお、

これに対するスイロミヤトニコフ・N・A の書評がある。『アジア・

アフリカの諸言語』モスクワ、一九六六、第五号、一九三—一九五頁
コロミエツ・A・S 『露和会話集』モスクワ、外国語文献出版
所、一九六一、一七五頁

ラヴレンチエフ・B・P、ネヴェロフ・S・V 『露和会話集』モ
スクワ、ソ連国防省軍事出版所、一九七五、四二—四頁

ネヴェロフ・S・V 編『ポケット露和辞典』（七千語）モスクワ、
国立外国語・民族語辞典出版所、一九五九、六八〇頁

ネヴェロフ・S・V 編『ポケット和露辞典』（七千語）モスクワ、
国立外国語・民族語辞典出版所、一九六二、四三—二頁

ネヴェロフ・S・V 『簡約露和会話集』バクー、ギャンジリク出
版所、一九六九、二七頁（V・I・レーニン生誕百年記念ソ日青年
労働者連帯祝賀集会）

ネヴェロフ・S・N 『旅行者用和露会話集』モスクワ、ロシア語
出版所、一九七九、三四—四頁

ネムゼル・L・A、スイロミヤトニコフ・N・A 編『和露辞典』（約
三万四千語）第二版（N・I・フェリドマンによる現代日本語文法
概説つき）モスクワ、国立外国語・民族語辞典出版所、一九六〇、

八八—七頁
ネムゼル・L・A、スイロミヤトニコフ・N・A 編『和露辞典』

（約三万四千語）第三版、（N・I・フェリドマン監修、同じくフェ
リドマンによる現代日本語文法概説つき）モスクワ、ソビエト百科

事典出版所、一九六五、八八一—頁

パシユコフスキー・A・A、ロジェツキン・A・M 『和露軍事用
語辞典』（約二万の単語と連語、A・A・パシユコフスキーの論文

「日本の軍事用語」つき）モスクワ、軍事出版所、一九五九、五五

五頁

ポペリ・L・A 『和露軍事技術用語簡約学習辞典』モスクワ、一九五九、五五五頁

ルドネフ・Y編 『漁業監視者用語露和会話集』モスクワ、一九五九、三五頁

タタリノフ・A 『アンドレイ・タタリノフの露和「語彙」』(O・P・ペトロワによる本文と序文)モスクワ、東洋文献出版社、一九六二、一三四頁(ソ連科学アカデミー・アジア民族研究所)

トゥルコフ・M・A編 『露和経済貿易用語辞典』(約一万五千語)モスクワ、外国貿易出版社、一九六五、四五六頁

『ソ連刊行辞書目録』一九八一—一九六二』モスクワ、ナウカ出版、一九六六、二三一頁(ソ連科学アカデミー・ロシア語研究所)、日本語関係は一六七—一六九頁

フェリドマン・N・I 『和露漢字学習辞典』(約五千字)第二版改訂・増補版)モスクワ、ロシア語出版社、一九七七、六八〇頁

フェリドマン・N・I、ドリヤ、M・G、匹田軍次 『和露小辞典』(約四千語、B・P・ラヴレンチェフ監修)モスクワ、ロシア語出版社、一九八〇、四〇八頁(1)付録(2)漢字部首索引つき)

ハヴロニナ・S 『ロシア語を話しましょう』第二版(日本語使用者用)モスクワ、ロシア語出版社、一九七五、二六四頁

ロマノフ・V・A編 『和露自動車・トラクター用語辞典』約一万四千語、E・B・パースヒン監修)モスクワ、ロシア語出版社、一九七七、五五一頁(漢字索引四三一—五五一頁)

アゼルバエフ・E・G、イズウツキヴェル・M・I共編 『露和無線電子工学用語辞典』(三万五千語、理学博士候補A・V・ハチョヤン監修)モスクワ、ロシア語出版社、一九八一、七八二頁

ザヴィヤロフ・V・A監修 『和露科学技術用語辞典』(約三万五千語、漢字索引つき)モスクワ、ロシア語出版社、一九七六、四九六頁

10 社会言語学

ネヴェロフ・S・V 『現代日本の言語文化の原理(言語生活論)』(文学博士学位論文要旨)モスクワ、一九七五、二八頁(ソ連外務省国立モスクワ国際関係大学)

ラズドルスキー・A・I 『日本語の対話に見られるコミュニケーションの民族的・文化的特徴』(文学博士候補学位论文要旨)モスクワ、一九八一、二〇頁(モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国研究所)

マカレンコ・V・A 『フィリピンにおける一九四二年から四五年までの日本占領軍当局の言語政策』、『日本の国語学の諸問題』第五巻、モスクワ、一九八一、一一三—一二三頁

ネヴェロフ・S・V 『日本語のラジオニュース原稿作成に関する諸問題』、『日本の国語学に関する第五回学術会議報告書』モスクワ、一九七五、二六一—二八頁

ネヴェロフ・S・V 『一九六〇年から一九七〇年までの日本の広告についての覚え書』、『言語と文学(東洋の諸言語)の問題』(研究紀要)、言語・文学編第一二号、モスクワ、一九七三、一〇二—一

一二頁(ソ連外務省国立モスクワ国際関係大学)

ネヴェロフ・S・V 「日本語に見られるコミュニケーションの民族的・文化的特徴」、『言語と文学(東洋の諸言語)の問題』(研究紀要)、言語・文学編第二号、モスクワ、一九七五、三六一—四六頁(ソ連外務省国立モスクワ国際関係文学)

ネヴェロフ・S・V 「現代の日本におけるマスコミのことばに見られる若干の特徴」、『心理言語学とコミュニケーション理論に関する全ソ連邦シンポジウム第四回、モスクワ、一九七二年、資料集』モスクワ、一九七二、六九—七八頁

ネヴェロフ・S・V 「日本語の敬語体系の現在の状態について」、『東洋言語学。特色論的研究』モスクワ、一九七一、八三—九一頁。

ネヴェロフ・S・V 「情報量の増大と日本語の語彙」、『アジア・アフリカの諸民族』一九七九、第五号、一〇七—一二頁

ネヴェロフ・S・V 「日本語の言語生活における言語行動とその分類」、『言語と文学の問題』(モスクワ)、一九七六、第一六号、三八—四九頁(ソ連外務省モスクワ国際関係大学)

ネヴェロフ・S・V 「日本語とロシア語を材料にしたマスコミの言語的特徴の対照的分析」、『マスコミの心理言語学の問題』モスクワ、ナウカ出版、一九七四、九六一—一二頁

ネヴェロフ・S・V 「社会状況の記号としての文章(日本の広告を材料にして)」、「心理言語学の問題」モスクワ、一九七五、六四—七〇頁(ソ連科学アカデミー・言語学研究所)

ポポフ・K・A 「第二次世界大戦時における日本の支配層の言語政策」、『アジア・アフリカ諸国における言語状況調査の問題』に對する討議資料集(ソ連科学アカデミー・アジア民族研究所)モスクワ、一九六五、二五—二六頁

トルカチョフ・P・F 「第二次世界大戦時の満州における日本の言語政策」、『アジア・アフリカ諸国における言語状況調査の問題』に對する討議資料集(ソ連科学アカデミー・アジア民族研究所)モスクワ、一九六五、二六一—二七頁

11 応用言語学

シェヴェンコ・S・M 「日本語の文章の形態論的分析のアルゴリズム」モスクワ、一九六四、三〇頁(ソ連科学アカデミー・精密工学及び計算技術研究所。電子計算機)

シェヴェンコ・S・M 「日本語の特許関係文書の分析。コード化の方式」モスクワ、一九六九、二〇〇頁(ソ連閣僚会議發明発見委員会、特許情報及び經濟技術調査中央研究所、同中央研究紀要、第三集特許情報分析の機械化)

シェヴェンコ・S・M 「日本語の自動翻訳に関する問題について」(文学博士候補學位論文要旨)モスクワ、一九六三、一八頁(ソ連科学アカデミー・精密工学及び計算技術研究所)

シェヴェンコ・S・M 「漢字及び仮名の文字識別に関する言語学の問題」モスクワ、一九六三、四二頁(ソ連科学アカデミー・精密工学及び計算技術研究所、電子計算機)

シェヴェンコ・S・M 「日本における科学技術及び特許に関する情報」(展望)リガ、一九六九、四四頁

シェヴェンコ・S・M 「日本語の印刷文書をコード化する一つの方法について」モスクワ、一九六七、一〇四頁(ソ連閣僚会議發明発見委員会、特許情報及び經濟技術調査中央研究所、同中央研究紀要)

要、第三集特許情報分析の機械化)

シエヴェンコ・S・M 『日本語の印刷文書を計算機に入力する際の漢字コード化の方法』モスクワ、一九六七、一六〇頁(ソ連閣僚会議発明発見委員会、特許情報及び経済技術調査中央研究所、同中央研紀要、第三集特許情報分析の機械化)

シエヴェンコ・S・M 『日本語の数学に用いられる文章の統計的研究』モスクワ、一九六三、五四頁(ソ連科学アカデミー・精密工学及び計算技術研究所、電子計算機)

シエヴェンコ・S・M 『日本語の印刷文書をコード化するための装置』モスクワ、一九六八、七四頁(特許情報及び経済技術調査中央研究所紀要、第三集第六八冊)

シエヴェンコ・S・M、イェルマコワ・L・M他 『日本語の特許関係文書についての統計的調査』モスクワ、一九六七、一八二頁(ソ連閣僚会議発明発見委員会、特許情報及び経済技術調査中央研究所、同中央研紀要、第三集)。なお、著者は、シエヴェンコ・S・M、イェルマコワ・L・M、クシエメンコ・A・V、コチンスカヤ・N・S、レルネル・M・L、マエフスキー・Y・V

シエヴェンコ・S・M、レルネル・M・L 『和露漢字頻度辞典』モスクワ、一九六七、三五頁(ソ連閣僚会議発明発見委員会、特許情報及び経済技術調査中央研究所、同中央研紀要、第三集特許情報分析の機械化)

シエヴェンコ・S・M、レルネル・M・L、イェルマコワ・L・M 『和露英漢字頻度辞典』モスクワ、一九六八、五〇頁(ソ連閣僚会議発明発見委員会、特許情報及び経済技術調査中央研究所、同中央研紀要、第三集特許情報分析の機械化)

バビンツェフ・A・A 「機械翻訳のための入力辞書における日本語動詞の表示について」、『レニングラード大学通信』(レニングラード)一九六三、第二〇号史料・言語・文学論、第四集、一二五—一二八頁、英文の要約あり

バルイシニコフ・G・M 「日本語の漢字と植字におけるその出現頻度」、『印刷機製作研究所』紀要』モスクワ、一九六二、第二〇冊、東洋諸言語による植字の機械化、二九—三三頁、図表つき

ガリペリナ・V・I (ポドレスカヤ・V・I) 「自動翻訳辞書における語彙素の意味論的、統語論的的特性の記述について(日本語の動詞スルの場合)」、『準研究員および若手研究員研究会報告論集——文学学・言語学』モスクワ、一九七六、七六—七八頁(ソ連科学アカデミー・東洋学研究所)

エフィモフ・M・B 「機械翻訳用の和露辞典が持つべき基本的特徴」、『精密工学及び計算技術研究所紀要』モスクワ、一九六一、第二冊機械翻訳、三三八—三四六頁

エフィモフ・M・B、ズヴォノフ・A・A 「漢字の字形分析システム作成の試み」、『ソ連科学アカデミー・精密工学及び計算技術研究所紀要』モスクワ、第二冊機械翻訳、一九六一、四一—四二二頁

ズヴォノフ・A・A 「漢字記号入力の問題について——中国語及び日本語の機械翻訳に関する問題——」、『東洋学の諸問題』モスクワ、一九六一、五一—号、一三九—一四六頁

ズヴォノフ・A・A 「漢字記号のコード化」、『ソ連科学アカデミー・アジア民族研究所抄報』第六八号、モスクワ、一九六四、一〇

八一—一八頁

イワノフ・P・Y、ヒョドロフ・V・T「日本語で書かれた科学技術文書を翻訳するための日本語の辞典と参考書について」、『科学技術情報(全ソ科学技術情報研究所)第一集情報分析の組織と方策、モスクワ、一九六八、第一〇号、二〇頁。なお、「第一集情報の過程と体系」とあったのは誤まり

イズツキヴェル・M・I「和露術語辞典編集のための新しい分類法」、『科学技術情報(全ソ科学技術情報研究所)第一集情報分析の組織と方策(モスクワ)、一九七三、第五号、二九—三〇頁。英文の要約あり。

イズツキヴェル・M・I「文字素識別法による活字体漢字の分類法(漢字辞書編集の基礎として、また自動文字識別機のために)『アジア・アフリカの諸民族』一九七五、第三号、一五三—一六五頁

マイエフスキー・Y・V「日本における頻度辞典作成のための若干の原に則つて」、『言語統計学及び言語学的作業の自動化の問題』第一冊、モスクワ、一九六七、六三—八二頁

マイエフスキー・Y・V「いくつかの日本語の頻度辞典について」、『日本語の特許関係文書処理の自動化』(特許情報及び経済技術調査中央研究所紀要、第一集、モスクワ、一九六九、一四八—一五六頁

ネエチャエフ・L・T「実用モデルに基づく日本語文の自動合成の試み」、『構造言語学の問題、一九七一』モスクワ、一九七二、二八七—三〇四頁
ポドレスカヤ・V・I「自動辞書における意味・統語情報の一つ

の表示法について」、『機械翻訳に関する国際セミナー。報告論文集』、全ソ翻訳センター、モスクワ、一九七九、一四六—一四七頁

ポドレスカヤ・V・I「自動辞書における語彙単位の意味・統語的特性の表示について」、『科学技術情報』第二集情報の過程と体系、一九八〇、第八号、一八一—二二頁

シェヴェンコ・S・M「示差的特徴による日本語の動詞・形容詞の自動分析」、『言語のモデル化のための構造数学的方法。全ソ学会議報告。発表論題集』第二部、キエフ、一九七〇、一三九—一四〇頁

シェヴェンコ・S・M「日本語の印刷文書における文字記号のコード化」、『日本語の特許関係文書処理の自動化』(特許情報及び経済技術調査中央研究所紀要)、第一集、モスクワ、一九六九、一五七—一八六頁

シェヴェンコ・S・M「日本の特許関係雑誌「特許公報」の翻訳を自動化するための若干の問題」、『科学論・予測論・情報学』キエフ、一九七〇、第三冊、六五—七四頁

シェヴェンコ・S・M「機械翻訳における日本語文の自動コード化に関する特殊性について」、『日本語の特許関係文書処理の自動化』(特許情報及び経済技術調査中央研究所紀要)、第一冊、モスクワ、一九六九、九—一五頁

シェヴェンコ・S・M「日本語の印刷文のデジタル計算機への自動入力について」、『ソ連科学アカデミー・精密工学・計算技術研究所紀要』モスクワ、一九六四、第三冊機械翻訳、一一六—一四五頁
シェヴェンコ・S・M「日本語および中国語の文章をコード化する一つの方法について」、『日本語の特許関係文書処理の自動化』(特

許情報・経済技術調査中央研究所紀要、第一冊、モスクワ、一九六九、一二八一—一四七頁

シエヴェンコ・S・M 『日本語からロシア語への自動翻訳に関する根本問題』、『日本語の特許関係文書処理の自動化』（特許情報・経済技術調査中央研究所紀要）、第一集、モスクワ、一九六九、三一—八頁

シエヴェンコ・S・M 『中国および日本の漢字の形式的分析』、『東洋言語学の理論的問題』をテーマとする社会主義諸国研究者第一回国際シンポジウム報告論集集、第二部、モスクワ、ナウカ出版、一九七七、九九—一〇三頁

シエヴェンコ・S・M 『日本の計算機』、『日本語の特許関係文書処理の自動化』（特許情報・経済技術調査中央研究所紀要）、第一冊モスクワ、一九六九、一八七—二〇八頁

シエヴェンコ・S・M、コルチンスカヤ・N・S 『日本語からロシア語への語幹単位のベスム6型計算機による翻訳実験の実施』、『日本語の特許関係文書処理の自動化』（特許情報・経済技術調査中央研究所紀要）、第一冊、モスクワ、一九六九、一〇七—一二七頁

シエヴェンコ・S・M、レルネル・M・L 『日本語の特許文書のロシア語への漢字単位の翻訳の試み』、『日本語の特許関係文書処理の自動化』（特許情報・経済技術調査中央研究所紀要）、第一冊、モスクワ、一九六九、一六一—一〇六頁

12 教科書および学習参考書。日本語教授法

ペイコ・B・V 『日本語会話入門—標準コース』、第一部（モスクワ、一九七六、四—一二頁）、第二部（モスクワ、一九七九、三七—八頁）

グリヴニン・V・S 『和文露訳用参考書—翻訳における語彙の問題』（I・V・ゴロヴニン監修）モスクワ、一九六五、一一〇頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院極東諸国言語・文学講座）

グリヴニン・V・S、コルチャギナ・T・I 『和文露訳用参考書—翻訳における文法の問題』（I・V・ゴロヴニン監修）モスクワ、一九七二、二二〇頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院極東諸国言語・文学講座）

ジマコフ・A・P 『一般翻訳のための第二学年用学習参考書（日本語）』モスクワ、一九七二、一二—二頁（軍事研究所外国語部門）

レザネンコ・V・F 編 『表意文字知覚のための視聴覚の支え—日本語学習に関する教授法上の勧告』キエフ、一九七八

カルポヴィッチ・N・I、ストリジャク・L・A 『日本語学習のための参考書』モスクワ国立大学東洋語学院専門学部第一学年用（I・V・ゴロヴニン監修）、全二冊、モスクワ、モスクワ国立大学出版、一九七二—一九七三年、第一冊（序論及び第一—第一〇課、一九七二、四四〇頁）、第二冊（第一—第二二課、三八二頁）

パユソフ・N・G 『当用漢字（モスクワ国立大学東洋語学院。日本語学習者用）』モスクワ、モスクワ国立大学出版、一九六八、一七八頁

パユソフ・N・G、マイエフスキー・Y・V 『日本の古い書きことば（文語）と漢字草書体のための参考書』モスクワ、一九七一、二五四頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院日本語学講座）

ポペリ・L・A、ラズドルスキー・A・I、ペイリコフ・Y・

G、シリオンキン・I・I 『軍事翻訳—第五学年用学習参考書（日本語）』モスクワ、軍事研究所出版局、一九七七、四二頁

ゴロヴニン・I・V 他編『日本語一般コースの学習指導要領』モスクワ、一九七〇、七三頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院極東諸国言語・文学講座）

ゴロヴニン・I・V、グリヴニン・V・S 監修・改訂・増補『日本語一般コースの学習指導要領』モスクワ、一九八一、七三頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国研究所、日本国語学講座）

ラズドルスキー・A・I 『会話練習—第四学年用学習参考書第一部（日本語）』モスクワ、軍事研究所出版、一九八一、一六〇頁

レザネンコ・V・F 『表意文字知覚のための視聴覚の支え』（文学博士候補学位論文要旨）キエフ、一九七八、二八頁（キエフ国立大学）

レザネンコ・V・F 『ロマンス語・ゲルマン語学専攻学部学生のための日本語の語彙・漢字テスト問題』全二部、キエフ、一九八〇（キエフ国立大学）、第一部（四六頁）、第二部（九〇頁）

ストリジャク・L・A、ヤヌシェフスキー・V・A 『日本語会話の学習参考書』全二冊、モスクワ、モスクワ大学出版、一九六八（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院）、第一部（三四九頁）、第二部（二四一頁）

ゴロヴニン・I・V 監修『日本語教科書—初學者用』モスクワ、大学・高専出版所、一九七一、二六〇頁（著者はA・G・リチャピン、L・A・ロバチョフ、N・G・パユソフ他）

パシユコフスキー・A・A 監修『日本語教科書』全二冊、モスク

ワ、一九七〇（タイプ原稿）、第一冊（入門コースおよび基礎コース第一—第一二課、四六一頁）、第二冊（基礎コース第一二—第三課、三六四頁）（著者はI・V・ゴロヴニン、N・I・ゴロヴニン、N・I・カルボヴィッチ、A・N・ソコロフ、P・I・シエマナエフ）

ゴロヴニン・I・V 監修『日本語教科書—続』（大学及び外国語学部用）モスクワ、大学・高専出版所、一九七三、第一部（二二四頁）、第二部（三三〇頁）

ゴロヴニン・I・V 監修『日本語学習参考書—第二学年後期用』モスクワ、モスクワ大学出版、一九六八、一八二頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院）（著者は、L・A・ロバチョフ、H・G・パユソフ、A・G・リャプキン他）

リャプキン・A・G 監修『日本語学習参考書—続 第三部』モスクワ、一九七九、四三五頁（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学、モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国研究所、日本国語学講座）（著者はL・A・ストリジャク（主任）、L・A・ロバチョフ、Y・V・マイエフスキー他）

『日本語教材—和露対訳読本』全三部、モスクワ、モスクワ大学出版、一九六八、四卷（M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学東洋語学院）、第一部（日本語テキスト、V・ロジオノフ編、一二〇頁）、第二部（漢字部首索引、V・ロジオノフ編、一二〇頁）、第三部上（日本語学習書、第一四—第二六課、I・V・ゴロヴニン監修、A・G・リャプキン、L・A・ロバチョフ、L・A・ストルジャク他共編）、四五六頁、第三部下（第二七—第四〇課、I・V・ゴロヴニン監修、A・G・リャプキン、L・A・ロバチョフ、N・

G・パユソフ他共編)

フェリドマン・N・I・コンラッド・M・S、ツイン・M・S

『科学技術翻訳教科書—日本語』(編集主幹V・A・ズロマンフ)、モスクワ、ソ連国防省軍事出版所、一九七九、六三九頁、内容は、(a)日本語文法概説(B・P・ラブレソフ)、(b)和露辞典、(c)附表、

(d)論文(1)科学技術文献翻訳における若干の語彙的特徴、(2)国語辞典の種類とその利用法)

フロロワ・O・P 「日本語の慣用句(学置参考書)』ノヴォシビルスク、一九七九、八八頁(シビルスク国立大学)

ホ・ジン 『日本の書道の学習参考書』モスクワ、一九七三、二九六頁(軍事研究所外国語部)

ホ・ウン・ペ 『言語実習第三学年用学習参考書(日本語) 第四—第一〇課』モスクワ、一九六八、一四四頁(軍事研究所外国語部)

ホ・ウン・ペ 『日本語実習学習参考書』モスクワ、一九七一、二二四頁(軍事研究所外国語部)

シェヴェンコ・S・M 『日本語の科学技術文書翻訳のための参考書—入門コース』モスクワ、ナウカ出版、一九七四、四〇三頁(ソ連科学アカデミー・東洋学研究所)

シリョニン・I・I 『軍事翻訳コース—日本語』全二部、モスクワ、モスクワ大学出版、一九七〇(M・V・ロモノソフ記念モスクワ国立大学)、第一部(三九四頁)、第二部(三六三頁)

ヴィコフ・S・A 「外国語としての日本語教授法について—日本の東海大学の場合」、『モスクワ大学通信』第一三集東洋学、一九七七、

第二号、八五—九〇頁

ゴロヴニン・I・V 「モスクワ大学アジア・アフリカ諸国研究所におけるアジア・アフリカ諸語の言語教育に関する問題—その一、聴講者が積極的に参加できるような授業形態」、『モスクワ大学通信』第一三集東洋学、一九八〇、第三号、五五—六二頁

ゴロヴニン・I・V 「その二、東洋およびアフリカの言語の教育における進度とコースとその調整」、『モスクワ大学通信』第一三集東洋学、一九八〇、第四号、四六—五三頁

ゴロヴニン・I・V 「東洋およびアフリカの言語の学習過程を編成するための教授法案」、『モスクワ大学通信』第一三集東洋学、一九八一、第二号、六〇—六五頁

ゴロヴニン・I・V 「モスクワ大学アジア・アフリカ諸国研究所の言語学者による教授法研究上の成果と課題」、『モスクワ大学通信』第一三集東洋学、一九七七、第二号、三—八頁

グリヴニン・V・S 「露和訳の理論と実践のためのコース編成」、『日本の国語学』モスクワ、一九六八、五三—六二頁

カルマジン・L・M 「日本語の会話教育の実践における擬声擬態語」、『論文集』第一七号、モスクワ、軍事研究所出版局、一九八一、一〇—一四頁

ロバチョフ・L・A 「学習の初歩段階における日本語文法教育上の若干の問題」、『日本の国語学』モスクワ、一九六八、六三—七五頁

プイリコフ・Y・G 「外国語専門の高等教育機関における語彙教育の強化のための略語の学習」、『第一四回科学的教授法研究会議、報告論題集』モスクワ、軍事研究所出版局、一九八一、二四四—二四六頁

ラズドルスキー・A・I「日本語のラジオ放送を聴取する能力向上に備えるための話しことばにおける省略文の分析」、『論文集』第一六号、モスクワ、軍事研究所出版局、一九八〇、八七―九二頁

ラズドルスキー・A・I「外国語教育に必要な外国人との交際における民族的文化的特殊性の基礎知識」、『第一四回科学的教授法研究会議、報告論題集』モスクワ、軍事研究所出版局、一九八一、二四七―二四九頁

以上四回の資料紹介は、昭和五十六―五十八年度の学術審議会の計画に基づく特定研究「学術研究動向調査」による研究の一部です。

(昭和五十八年八月三十日 受理)